

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 041	提案機関名 湘南地域県政総合センター
要望問題名 畜産物生産技術と畜産物の味・香りに係る研究	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 TPP対策として、県産畜産物の特徴を明確にし、高くても売れる構造を確立していく必要がある。 最近技術開発が著しい味と香りの視点から、神奈川独自の生産技術で生産された畜産物の特徴が明らかになれば、畜産ブランドのストーリーを裏付けるなど、県産畜産物のブランド化を強力に進めることが可能となる。 そこで、品種・給与飼料など生産技術が畜産物の味・香りに及ぼす影響について解明して欲しい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部企画研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 県産畜産物の出口戦略を推進する一助として当所でも、飼料と畜産物の分析を行いその関連性を調査する試験や、消費者の嗜好や購買動向の調査をこれまでに実施しており、ご指摘のとおり、給与飼料等の生産技術が畜産物の味・香りに及ぼす影響についても検討する必要があると認識しております。 来年度から課題化することは困難ですが、今後、大学や民間機関等と情報交換をおこない、具体的な検討対象が明確になれば課題化について検討してまいります。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			